

まちづくりキャッチフレーズ

あふれる笑顔 豊かな緑

交流とふれあいのまち倉吉



新生 倉吉市 来年3月22日スタート

9月23日(木) 倉吉交流プラザ視聴覚ホールで、倉吉市・関金町合併協定調印式が開催され、平成17年3月22日に、人口約5万4千人、面積272.15km²の新生「倉吉市」がスタートすることが決まりました。

新市のまちづくりの基本方針としての将来像を「人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」～新市のブランド化を目指して～」として、長谷川稔倉吉市長と竹田哲男関金町長が、合併方式、合併の期日、新市の名称、新市の事務所の位置など22項目について具体的に記述された合併協定しました。

そして、24日には、倉吉市議会と関金町議会でそれぞれ合併関連の議案が可決されました。

主な内容

- 教育を考える会を終えて.....2~3
- シビックセンターたからやオープン.....4
- 遙かな街へ/部落解放シリーズ.....5
- 暮らしの交差点.....6~10
- どうぞ・どうぞ/きてみてね/地区の話題...11
- 健康ファイル.....12

2004 10・1

教育を考える会を終えて

問い合わせ先：
倉吉市教育委員会 学校教育課
☎22-8166 ☎22-1638

倉吉市教育委員会は、市内各小学校区ごとに「教育を考える会」を実施いたしました。多くの方々にご参加いただき貴重なご意見を頂戴しました。

倉吉市教育委員会のウェブページ（<http://www.city.kurayoshi.tottori.jp/gakkou/>）に、各地区の内容につきまして掲載しておりますのでご覧ください。

教育を考える会の目的

社会の急激な変化、教育制度の改革などに伴い、学校、家庭、地域社会など子どもを取り巻く環境が変化しています。そうした変化の中で、将来を担う子どもが健やかに育ち、確かな学力を身につけるためには、学校、家庭、地域社会がそれぞれ持つ教育機能を十分に発揮するとともに、連携を密にする必要があります。

本会は、平成14年度から実施されている学習指導要領のめざす方向や、教育改革の内容など、これからの教育の方向について保護者や地域に説明するとともに、それぞれの校区における学校、家庭、地域社会の現状について認識し、課題をクローズアップし、その解決のための方策について協議するとともに、それぞれの教育機能の高まりと連携を推進するために行いました。



小学校区ごとの開催日時と会場および参加人数

参加者合計：1,094人

地区	日時	会場	参加人数	地区	日時	会場	参加人数
社	6月28日(月)19:30～21:30	社公民館	120	上北条	8月6日(金)19:30～21:30	上北条公民館	59
灘手	6月29日(火)19:30～21:30	灘手公民館	70	高城	8月9日(月)19:30～21:30	高城ふれあいセンター	71
上小鴨	7月28日(水)19:30～21:30	上小鴨公民館	90	成徳	8月10日(火)19:30～21:30	成徳公民館	75
河北	8月3日(火)19:30～21:30	県立倉吉体育文化会館	78	北谷	8月23日(月)19:30～21:30	北谷公民館	72
西郷	8月4日(水)19:30～21:30	西郷公民館	116	上灘	8月24日(火)19:30～21:30	上灘公民館	88
明倫	8月5日(木)19:30～21:30	明倫公民館	123	小鴨	8月26日(木)19:30～21:30	小鴨公民館	132

学校・家庭・地域で連携して

本市の子どもたちが、夢や希望を持って、様々な困難にも負けず、自らの目標に向かって努力し、自己実現を図ることは、本市の将来の発展や市民の幸せにつながることは言うまでもありません。

そのためには、子どもたちが、学校や地域で仲間と共に楽しく学習したり、体験を積み重ねたりして、心豊かに確かな学力を身に付けることが重要です。

そうした子どもたちのための環境作りは、学校だけが行うのではなく、家庭や地域、そして多くの機関と一緒に取り組んでいくことで効果が生まれてくると考えています。

本会は、多くの団体や機関、地域の

方々と連携を図りながら、社会全体で子どもを育てていくために、子どもの現状をしっかりと捉え、子どもたちの育ちや課題を共有し、その課題解決のために大人が何をすべきかについて話し合いを行いました。

どの地区においても、子どもや地域の実態に応じた熱心な話し合いが行われました。

また、多くの皆様から、本市教育のより一層の充実のために、教育委員会や学校に貴重なご意見をいただきました。

教育委員会としましては、本会を受けて、学校・家庭・地域が協力体制を確立し、地域ぐるみで具体的な取組みが、今まで以上に展開されることを期待するとともに、そうした取り組み

を支援していくことに努めて参ります。

今後とも、本市教育の更なる発展、充実のために、市民の皆様のご協力、ご支援の程よろしくお願ひしますとともに、本会の開催にあたり提案・発表いただきました皆様、参加についてご協力をいただきました団体や機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

どうもありがとうございました。

倉吉市教育委員会教育長 福光純一



各地区の報告

- 話し合いで出た、主なご意見を紹介いたします -

社小学校区

- ・大人が地域の子どもにかかわりが持てるためには、あいさつ運動を展開することが大切である。そのためには、子どもたちからのあいさつを待つのではなく、大人から積極的にあいさつをする。
- ・連絡を密にし、学校、家庭、地域が共通理解をもって子どもたちの指導にあたりたい。

灘手小学校区

- ・少子化により、子どもの結びつきが困難な状況にあるなかで、親子が地域行事に参加し、地域活動を盛り上げたい。
- ・灘手地区としては学力向上をめざし、そのために家庭、地域、学校の三者が連携を図っていく。

上小鴨小学校区

- ・子どもの様子をみんなで見て、何か様子が変われば、学校に報告する。問題のある子どもがいれば、みんなでそのことを考え、その子の悩みを本気で聞く。いけないことはいけないと厳しく教える。
- ・地域のやさしさや温かさの中で、子どもを育む地域づくりをめざしていこう。
- ・地域の中の教育環境を見直そう。

河北小学校区

- ・地域の子どもは地域の大人が育てる、という意識を持って、大人から進んであいさつ、進んで地域の行事に参加していく。
- ・子どもたちがあいさつをしない、できないのは、子どもたちが地域の大人の顔を知らないから。地域の方からあいさつをしていただくことも必要だ。

西郷小学校区

- ・大人が地域が何をやっていけば良いか。

(提案より)

- 館長 あいさつ運動
- 校長 3つのお願い

(子どもたちを育ててほしい、保護者同士が繋がってほしい、地域の一員の自覚がほしい)

- ・地区全体の取組みについては、まとめができなかったが、それぞれが持ち帰って今後の取組みについて考えていく。

明倫小学校区

- ・子どもは、大人の言動・生活等を映している。子どもの状況を考える時、まず、大人自身について考えることが必要である。
- ・大人が地域の子どもの見本となるような行動を示し、子どもにかかわっていく。

上北条小学校区

- ・子どもを育てるという点においては、非常に難しい時代であり、学校だけでは子どもを健全に育成できない。



- ・学校がお願いをしても、聞いてもらえないこともあり、今こそ、地域や家庭の協力が必要である。地域としての後押しをお願いしたい。
- ・他人の子どもも叱ろう、ということがあったが、「子どもを叱れる地域=お互いを知っている地域」をつくっていかなくてはならない。

高城小学校区

- ・子どもたちは地域の財産だと考えている。各地域のまとまりが大切だと思う。親同士がまず仲良くなるのが大切だと考える。
- ・子どものことは学校と保護者に任せておけばいいという時代ではなくなっている。地域の人が自分の地域の子どもはみんな知っているという状況にしていかななくてはならない。そのためにも、親同士の結びつきを強めていくことが大切である。

成徳小学校区

- ・地域の大人同士のかかわりが重要である。子どもの教育だけでなく、大人の教育を通して、地域が一つになり成徳地区を盛り上げていきたい。
- ・あいさつができない、ということがよく問題となるが、子ども達は、学校ではあいさつをよくしている。しかし、家や地域では大人があいさつをしないから、子どももあいさつをしない。大人のあいさつ運動を継続していきたい。

北谷小学校区

- ・他人の子どもも遠慮なく叱れるような、大人同士の人間関係づくりが大切である。
- ・親も子どもと一緒に積極的に地域行事に参加し、結びつきを深めていくことが必要だ。

上灘小学校区

- ・他の校区の子どもたちに比べて、上灘の子どもたちが地域の行事に参加していない実状がある。
- ・地域の行事への参加が少ないのは子どもたちの意識ではなく、親の意識の問題である。子どもたちが、さまざまな体験を通して生きる力を身につけていくために、地域の行事に、親自ら積極的に参加して欲しい。

小鴨小学校区

- ・大人が自分の社会的地位におごることなく、マイナス面をまず認め、それを改善することが子どもを良くすることにもつながっていくと思う。
- ・大人のあいさつ運動をするべきである。大人があいさつをきちんとしていれば、子どもも当然その姿を見てそれにならう。子どもたちを良くするために、大人が良くなるべきである。